

17:32 <NQN>◇香港株大引け 4日続落、米引き締め長期化警戒 中国ネット大手に売り
NYA6862

【NQN香港＝瀬崎真知子】24日の香港株式相場は4日続落した。ハンセン指数の終値は前日比341.31ポイント（1.67%）安の2万0010.04だった。およそ2カ月ぶりの安値。米金融引き締めの長期化懸念を背景に、香港市場でもリスクを回避する目的の売りが強まった。中国のネット大手株を中心に下げた。

中国ゲームの網易（ネットイース）が11%安。電子商取引のアリババ集団は5%超安となった。保険や通信、自動車、石油、石炭、教育、飲食、スポーツ用品なども売られた。

半面、中国画像認識大手の商湯集団（センスタイム）や太陽光ガラスの信義光能控股が高い。公益や教育関連の一部が堅調。半導体の一角も買われた。

香港の運用会社、大唐資本のローザ・リー最高投資責任者（CIO）は足元の香港株安について「米国の金融政策が不安定で、米金利が高止まりしている影響が大きい」と指摘する。引き締めの影響を受ける米国などの外国資本の流入が抑制され、短期的には香港株にも不利な状況が続くとの認識を示した。市場には「1月にかけてあまりにも速く上昇した反動」（証券関係者）との指摘もあった。

香港では来週以降もは主要企業の決算発表が続く。「投資家はハイテク株が（業績により）売り圧力にさらされるのかどうか注視している」（ローザ氏）という。

香港上場のハイテク関連銘柄で構成する「ハンセンテック指数」は3.33%安だった。

香港メインボードの売買代金は1163億香港ドルだった。中国本土との相互取引で、本土投資家による香港株の売買は買い越しだった。